

令和 6 年度 (公財) 宮崎県国際交流協会事業実績報告書

本協会の事業計画に基づき、県民の参加による国際交流の推進、情報の提供、外国人住民の支援及び国際化推進のための事業等を次のとおり実施した。

1 交流推進事業

(1) 国際交流サロン

県民と外国人が気軽に交流する場を提供した。

ア 国際ふれあいチャット(県民と外国人との外国語による交流)

(ア) 英語

前期 6月8日 ～ 7月13日(土曜) 全6回 延べ77名参加

後期 1月11日 ～ 2月15日(土曜) 全6回 延べ63名参加

(イ) 韓国語

前期 5月30日 ～ 9月5日(木曜) 全6回 延べ25名参加

後期 12月5日 ～ 2月20日(木曜) 全6回 延べ29名参加

(ウ) 中国語

前期 6月4日 ～ 7月9日(火曜) 全6回 延べ27名参加

後期 1月7日 ～ 2月18日(火曜) 全6回 延べ24名参加

イ 日本伝統文化体験(外国人住民向け講座)

外国人住民を対象に、日本の伝統文化を体験する講座を実施した。

(ア) 「浴衣の着付け講座」

開催日：令和6年10月20日(日)

場 所：新富町総合交流センター

参加者数：16名

(イ) 「香道体験と匂い袋づくり」

開催日：令和7年1月25日(土)

場 所：青少年プラザ

参加者数：11名

(2) 国際交流ボランティア養成・運営事業

通訳、ホストファミリー、日本語、外国人災害サポートボランティアの4つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者の活動を促進するとともに、資質の向上を図るための研修会を開催した。※研修の詳細は後掲

（３）国際交流展示

外国人住民が作成した絵画や写真等の展示や、外国人住民と日本人住民が交流するイベントを行った。

ア みやざきインターナショナルフェスタ～ワールドテラス 2024

※宮崎青年会議所、宮崎公立大学との共催

開催日：令和6年9月21日（土）

場 所：宮崎公立大学

来場者数：4,149名

内 容：（ア）世界の音楽ステージ

中国の二胡の演奏・スリランカ及びキルギスの歌・ネパール及びミャンマーのダンス・インドネシアの楽器演奏と歌

（イ）世界の国・国際交流団体ブース

エジプト・モロッコ・イギリス・中国・バングラデシュ・

シンガポール・ドイツ・オーストリア・インドネシア・

ミャンマー・キルギス・宮崎市国際交流協会・宮崎市外国人相談

窓口・清武町国際交流協会・宮崎県ベトナム人協会・JICA 宮崎

デスク・宮崎ブラジル親善協会

（ウ）日本伝統文化体験ブース

よろいかぶとの試着・茶道の体験

※その他、同会場にて宮崎青年会議所の運営により、地域フォーラム、職業体験、防災学習、スポーツ体験等も実施された。

イ 「外国人が見た宮崎」作品展

本県に住む外国人の方々が感じた宮崎の印象・想いを絵画・写真・書道などで表現した作品を集めた展示会を開催した。

作品数：81点（16の国と地域から59名）

（ア）カーリーノ宮崎地下1階

開催日：令和6年9月4日（水）～9月18日（水）

投票者数：113名

（イ）宮崎公立大学附属図書館

開催日：令和6年9月21日（木）

※みやざきインターナショナルフェスタ内で開催

投票者数：396名（※来場者数：828名）

（巡回展）

開催日：1月18日（土）～1月30日（木）

場 所：県庁防災庁舎1階

2 情報提供事業

(1) インターネット・広報紙等による情報提供

県民や外国人住民がインターネットにより国際交流や国際協力活動等の多様な情報収集が得られるよう環境を整え、利用者の便宜を図った。

ア 情報誌「国際プラザニュース」発行 毎月 (3,500 部／1 回)
(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語)

イ 協会誌「South Wind」発行 年 2 回 (2,700 部／1 回)

ウ 協会ホームページによる情報提供等
協会ホームページへのアクセス件数 18,464 件

エ 外国語による生活情報提供
「Living in Miyazaki (宮崎の暮らし)」を英語で宮崎日日新聞に月 1 回、季節ごとに身近な話題をとりあげて掲載。
(例) 地震への備え、夏の食中毒、お盆、紅葉狩り など

(2) 国際プラザ運営事業

国際プラザにおいて、県民ボランティアを活用しながら、外国人や県民に各種生活情報の提供、専門機関の紹介、図書の貸出等を行った。

ア 令和 6 年度国際交流協会利用者実績
12,483 人 (うち外国人 2,956 人)

イ 国際プラザ利用者数
5,012 人 (うち外国人 1,268 人)

ウ 図書貸し出し数
451 件 (うち外国人 58 件)

エ 相談件数
192 件 (うち外国人 29 件)

3 外国人住民支援事業

(1) 多文化共生社会推進事業

ア 県民向け多文化共生講座

県民を対象に、多文化共生に関する講座を実施した。

(ア) 「外国人と共に拓く地域の未来～持続可能な社会の形成とダイバーシティ～」

開催日：令和6年12月7日（土）

場所：県企業局 県電ホール

参加者数：34名

(イ) 「僕が考える『多文化共生』～共通点を持つことからはじめよう！～」

開催日：令和7年3月1日（土）

場所：県企業局 県電ホール

参加者数：40名

イ 自治体職員向け外国人支援防災講座及び意見交換会

県内の自治体職員等を対象に、行政に求められている外国人のための防災や災害時における外国人支援等に関する講座を実施した。

開催日：令和6年8月22日（木）

場所：県庁防災庁舎

参加者数：17名（うち外国人4名）

ウ 外国人災害サポートボランティア養成講座

災害時の外国人支援についての講義や避難所を想定したワークショップ、優しい日本語の活用の仕方などを通じ、災害時に外国人を支援するために必要な知識や心構えを学ぶ講座を実施した。

(ア) 宮崎市

開催日：令和6年7月27日（土）

場所：カリーノ宮崎 会議室

参加者数：30名（うち外国人4名）

(イ) えびの市

開催日：令和6年10月19日（土）

場所：えびの市国際交流センター

参加者数：8名（うち外国人0名）

(ウ) 宮崎市

開催日：令和6年11月27日（水）

場所：宮崎大学木花キャンパス

参加者数：24名（うち外国人11名）

※宮崎大学国際連携センター、宮崎市、JICA九州共催

エ 外国人住民向け防災セミナーの実施

県内の外国人住民や外国人を支援する日本人等を対象に、日本における防災に関する知識や災害時の対処方等を学ぶ講座を実施した。

(ア) 川南町

開催日：令和6年7月21日（日）

場所：農村環境改善センター

参加者数：22名（うち外国人12名）

(イ) えびの市

開催日：令和6年10月19日（土）

場所：えびの市国際交流センター

参加者数：15名（うち外国人8名）

オ 宮崎県災害時多言語支援センター設置・運営訓練

災害時における業務手順を確認・共有し、課題を抽出するため、災害状況を想定した訓練を実施した。

開催日：令和6年7月23日（火）

場所：県庁8号館会議室ほか

参加者数：31名（うち外国人3名）

（２）外国人住民等相談窓口運営事業

ア みやざき外国人サポートセンターの運営

外国人住民等からの生活・就労等に関する相談を対面又は電話、メール等で受け付け、相談員による適切な情報提供及び関係機関への取次ぎを行った。

受付時間：火曜日～土曜日 10：00～19：00

相談件数：270 件

多言語対応：翻訳機や多言語コールセンターを活用し、23 言語に対応

イ 出張相談会の開催

外国人住民等に対する出張相談会を開催し、窓口への来所が難しい外国人住民等に対面での相談対応を行った。

開催日：令和 7 年 2 月 7 日（金）

場 所：宮崎大学国際連携センター

相談件数：5 件

ウ 生活相談の実施

7 名の生活相談員を委嘱し、母国語での対応が必要な相談者へ対応した。

対応言語：7 言語（英、中、韓、インドネシア、ベトナム、ポルトガル、タガログ）※母語による相談会

相談件数：9 件

エ 関係機関との連携

（ア）運転免許技能試験対策ディスカッション

外国人住民の運転免許試験に関する悩み・不安を解消するため、自動車教習所の講師による講義及びディスカッションを開催した。

開催日：令和 6 年 10 月 12 日（土）

場 所：カリーノ宮崎 会議室

参加者数：5 名

（イ）関係機関会議

国・県・市町村及び関係機関の窓口と、外国人住民支援に関する連携体制の構築を目的とした会議を実施した。

開催日：令和 7 年 3 月 14 日（金）

場 所：カリーノ宮崎 会議室

出席者数：15 名

オ 外国人住民等への情報提供

冊子の作成やホームページ、フェイスブック等を活用し、外国人住民等へ生活関連情報等の提供を行った。

(ア)「防災・防犯メール」チラシ増刷 1,000 枚

(英・ベトナム 各 500 枚)

(イ) 防災パンフレット増刷 5,000 部

(日・英・中・韓・ベトナム 各 1,000 部)

(ウ) サポートセンター情報誌（チラシ）の発行 3,000 枚

(日・英・中・韓・ベトナム・インドネシア 各 500 枚)

(エ) インターネットを活用した情報発信

令和 6 年 12 月、ホームページへ自動翻訳機能を導入

(英・中・韓・ベトナム・インドネシア・やさしい日本語)

（３）地域日本語教育体制整備事業

ア 日本語教育体制の構築

（ア）総合調整会議の開催

地域や外国人の実態・特性を踏まえた日本語教育の推進施策について協議を行う場として宮崎県、各市町村、関係団体、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会で構成される会議を実施。事業の目的や進捗状況の説明のほか、今後の事業展開に関する意見交換等を行った。

a 第１回

日 程：令和６年７月３０日（火）

場 所：オンラインで開催（Zoom 使用）

出席者数：３３名

b 第２回

日 程：令和７年１月２８日（火）

場 所：オンラインで開催（Zoom 使用）

出席者数：３１名

（イ）総括コーディネーターの配置

本事業の総括を行うコーディネーターを配置した。

（公財）宮崎県国際交流協会 山崎 晴果

（ウ）地域日本語教育コーディネーターの配置

地域や外国人の実態・特性を把握し、ニーズに応じた日本語教育プログラムの企画・調整を行う地域日本語教育コーディネーターを配置した。

吉元 愛美

（エ）日本語教育実態調査

宮崎県における日本語教育の現状や、外国人住民の日本語教育に係る課題及びニーズ等を把握するため、市町村や日本語学習支援者などを対象に調査を実施した。

（オ）日本語教育担当者研修の実施

日本語教育を取り巻く状況や認識を共有するため、市町村の日本語教育担当者を対象に、日本語教育の重要性や育成就労制度に関する研修を実施した。

日 程：令和６年７月３１日（水）

場 所：オンラインで開催（Zoom 使用）

参加者数：２２名

(カ) ひなたにほんご交流会の開催

県内で活動する日本語教育関係者が日頃の課題等を共有するとともに、関係者同士の顔が見える関係づくりを推進することを目的に交流会を実施した。

出席者は県、有識者、日本語教師、日本語学習支援者等。

日 程：令和6年11月30日（土）

場 所：KITEN ビル8階 コンベンションホール

参加者数：21名

(キ) 日本語教育・多文化共生入門セミナーの開催

地域における日本語教育についての機運醸成のために、市町村職員を対象とした、日本語教育・多文化共生セミナーを開催した。

a 第1回（宮崎市職員向け）

日 程：令和6年10月9日（水）

場 所：宮崎市民プラザ

参加者数：31名

b 第2回（日向市職員向け）

日 程：令和6年10月30日（水）

場 所：日向市役所

参加者数：31名

c 第3回（小林市職員向け）

日 程：令和6年11月13日（水）

場 所：小林市役所

参加者数：20名

d 第4回（新富町職員向け）

日 程：令和6年12月18日（水）

場 所：新富町役場

参加者数：53名

e 第5回（都城市職員向け）

日 程：令和7年1月31日（木）

場 所：都城市役所

参加者数：33名

イ 日本語教育人材の育成

(ア) 日本語教師研修

県内で活躍する日本語教師を対象として、よりよい教育活動につながる知識・技能を身に着けるため研修を実施した。

a 第1回

日 程：令和6年12月14日（土）

場 所：オンライン

参加者数：13人

b 第2回

日 程：令和7年2月1日（土）

場 所：県庁防災庁舎

参加者数：13人

c 第3回

日 程：令和7年2月8日（土）

場 所：県庁防災庁舎

参加者数：12人

(イ) 日本語学習支援者講座

外国人住民の日本語学習支援を希望する者を対象に、支援にあたる心構えや学習者に対するコミュニケーションの手法を学ぶための講座を実施した。

a 第1回

開催日：令和6年11月9日（土）

会 場：カリーノ宮崎 会議室

参加者数：11人

b 第2回

開催日：令和6年11月16日（土）

会 場：カリーノ宮崎 会議室

参加者数：11人

c 第3回

開催日：令和6年11月24日（日）

会 場：新富町総合交流センター

参加者数：11人

d 第4回

開催日：令和6年12月21日（土）

会 場：カリーノ宮崎 会議室

参加者数：11人

ウ 県内各地域における日本語教育の実施

(ア) 日本語講座の開催

テキストを使用した学校形式の講座を開催する。

a 対面

(a) カリーノ宮崎

入門（後期・午前）：10月15日～1月16日（全30回）

学習者：6名（延べ89名）

(b) 宮崎大学

入門（通年・午後）：7月1日～1月14日（全24回）

学習者：12名（延べ122名）

初級（通年・午後）：7月2日～1月15日（全44回）

学習者：13名（延べ163名）

b オンライン

入門（後期・午後）：10月16日～2月12日（全30回）

学習者：8名（延べ142名）

初級1（前期・午後）：6月12日～9月27日（全30回）

学習者：8名（延べ108名）

初級1（後期・午前）：10月15日～2月13日（全30回）

学習者：9名（延べ131名）

初級2（前期・午前）：6月11日～10月1日（全30回）

学習者：8名（延べ187名）

初級2（後期・午前）：10月16日～2月7日（全30回）

学習者：7名（延べ94名）

初級3（前期・午前）：6月12日～9月27日（全30回）

学習者：5名（延べ89名）

(イ) 地域日本語教室の開催

日本人住民との交流を交えながら地域で生活する上で必要な日本語を学習する日本語教室を開催する。

a 第1回

日 程：令和6年11月24日（日）

場 所：新富町西体育館

内 容：自転車の交通ルール

参加者：35名

b 第2回

日 程：令和7年1月19日（日）

場 所：新富町総合交流センターきらり

内 容：防災

参加者：13名

(ウ) 日本語スピーチコンテストの開催

県内で生活する外国人（留学生を含む。）が日本語学習の成果を確認するとともに、それを聞く全ての人たちに新たな視点を与え、違いを知る好機として相互理解を図ることを目的に、日本語のスピーチコンテストを開催する。

日 程：令和7年2月2日（日）

場 所：県企業局県電ホール

発表者数：23名（学生の部9名、一般の部14名）

来場者数：99名

(エ) 「ひなたにほんごナビ」の運営

宮崎県（県国際交流協会を含む）や市町村の日本語教育に関する取組を多言語で紹介するポータルサイトを運営し、外国人住民や日本人住民等への周知を図る。

U R L：<https://hinatanihongo.mif.or.jp/>

閲覧件数：12,812件

閲覧者数：4,275名

(オ) ICT教材の利用促進

本事業による日本語教室等以外でも外国人住民が自ら学習できるよう、文化庁のオンライン教材「つながる ひろがる にほんごでの暮らし」について、日本語教室におけるリーフレットの配布や動画の視聴、ひなたにほんごナビ及び協会ホームページ上での広報等により周知・啓発を行う。

4 国際化推進事業

(1) 国際化推進助成事業

国際交流事業を行う団体に対し事業費の補助を行う。

補助団体：2件

- ・宮崎イカヒキナオカラー実行委員会
- ・（一社）ガールスカウト宮崎県連盟

補助金額：各 100 千円

(2) 国際理解・開発教育支援事業

ア 県民向け国際理解講座の実施

県民の国際化を図るため、県内に多く在住する外国人の出身国や県民にまだあまり知られていない国などへの理解及び交流を促進するため、その国の生活・文化等を紹介する国際理解講座を実施した。

(ア) オーストリア編「オーストリアってどんな国?極上の音楽と SDGs 先進国」

開催日：令和6年7月6日（土）

場所：カリーノ宮崎 会議室

参加者数：30名

(イ) ドイツ編「ドイツ教育制度の秘密をカードゲームで解き明かそう！」

開催日：令和6年9月28日（土）

場所：新富町総合交流センター

参加者数：17名

(ウ) 韓国編「韓国の食文化～ヨンジュさんとあったかプデチゲを作ろう～」

開催日：令和6年11月9日（土）

場所：都城市コミュニティセンター

参加者数：24名

※（一社）都城国際交流協会共催

(エ) バングラデシュ編「日本とバングラデシュの友情」

開催日：令和6年11月30日（土）

場所：カリーノ宮崎 会議室

参加者数：12名

(オ) エクアドル編「エクアドルってどんな国?～ファニーさんとロクロデパパスを作ろう～」

開催日：令和6年12月14日（土）

場所：日南市飫肥

参加者数：14名

(カ) イギリス編「The Swinging Sixties～1960年代のイギリスの文化革命とビートルズ」

開催日：令和7年2月1日（土）

場所：県企業局県電ホール

参加者数：32名

イ 異文化理解・多文化共生に関する講座

地域の学校や団体などへ多文化共生アドバイザー等を派遣し、外国人を隣人として迎える意識の改革や外国人住民が抱える問題などの事例を題材に、多文化共生社会の理念などをわかりやすく解説する講座を実施する。

実施回数： 25件

参加者数：1,474名

ウ 国際理解教育（講座）支援

（ア）ワールドボックスの貸し出し 3件

（イ）国旗の貸し出し 10件

5 そ の 他

(1) 宮崎大学外国人留学生講座

海外の国や地域のことを知り、身近に感じていただく機会として、宮崎大学の留学生を講師として、「中国文化・中国語」をテーマに講座を開催した。

※主催：宮崎大学国際連携機構（当協会共催）

ア 第1回

日 程：令和6年7月20日（土）

会 場：カリーノ宮崎 会議室

参加者：5名

イ 第2回

日 程：令和6年7月27日（土）

会 場：カリーノ宮崎 会議室

参加者：11名

ウ 第3回

日 程：令和6年8月3日（土）

会 場：カリーノ宮崎 会議室

参加者：6名

(2) 公益財団法人宮崎県国際交流協会の管理運営

- ・協会管理
- ・事業管理
- ・宮崎ブラジル親善協会委託事業管理